

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 ディービーエックス株式会社
コード番号 3079 URL <http://www.dvx.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長
四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(氏名) 若林 誠
(氏名) 田島 恵美子

TEL 03-5985-6827

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,999	—	81	—	115	—	58	—
20年3月期第1四半期	2,769	—	83	—	77	—	44	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	43.09	42.59
20年3月期第1四半期	69.60	67.90

(注) 当社は、平成19年4月25日に株式会社ジャスダック証券取引所へ上場しており、平成19年3月期第1四半期は業績の開示を行っていないため、平成20年3月期第1四半期前年同期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	5,505	1,688	30.7	1,237.87
20年3月期	5,469	1,668	30.5	2,451.59

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,688百万円 20年3月期 1,668百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	32.00	32.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	6,568	17.4	166	1.8	161	16.8	88	12.3	64.63
通期	13,356	13.8	460	0.1	450	7.2	245	3.7	179.85

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	1,364,000株	20年3月期	680,800株
期末自己株式数	21年3月期第1四半期	148株	20年3月期	74株
期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第1四半期	1,361,784株	20年3月期第1四半期	637,389株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年4月1日を効力発生日として1:2の株式分割を実施しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題の影響による金融・資本市場の混乱、原油価格・原材料価格の高騰等により景気の減速傾向は一層強まり、先行き不透明な状況で推移しました。医療機器業界におきましては、本年4月に厚生労働省による医療費の適正化を目的とした特定保険医療材料の保険償還価格の引き下げが実施され、商品価格は下落傾向にあります。

このような情勢のもと、当社では、平成20年5月に九州営業所を開設し販売網の強化をはかるなど、新規顧客開拓と新商品導入による業容の拡大、競争力のある組織体制の確立を目指し、事業拡大に注力してまいりました。

これらの結果、第1四半期の売上高は2,999百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益81百万円（同2.4%減）、経常利益115百万円（同48.2%増）、当期純利益58百万円（同32.3%増）となりました。

事業区分別の売上状況としては、保険償還価格引き下げの影響を受けつつも、不整脈事業では心臓ペースメーカ、ICD（植込み型除細動器）がともに数量を伸ばし、2,583百万円（前年同期比7.4%増）となりました。虚血事業では自動造影剤注入装置「ACIST」のディスプレイブルキットが好調に推移し412百万円（同15.9%増）となりました。その他では、3百万円（同51.8%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前事業年度末と比較して35百万円増加し、5,505百万円となりました。また、純資産につきましては、前事業年度末と比較して19百万円増加し、1,688百万円となりました。

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,639百万円となり、前事業年度末と比較して72百万円の増加となりました。資金が増加した主な要因は、以下のキャッシュ・フローによるものです。

営業活動により得られた資金は145百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益103百万円に加え、仕入債務の増加103百万円、未払賞与の増加101百万円等の収入要因があった一方、賞与引当金の減少55百万円、法人税等の支払額114百万円等の支出要因があったことによるものです。

投資活動により支出した資金は1百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7百万円、差入保証金の支払による支出3百万円等の支出要因があったものの、貸付金の回収による収入8百万円等の収入要因があったことによるものです。

財務活動により支出した資金は73百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出39百万円及び配当金の支払額33百万円等の支出要因があったことによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月14日公表の「平成20年3月期 決算短信」における業績予想に変更はございません。

ただし、ストックオプションの権利行使により期中平均株式数に変更があったため、1株当たり当期純利益のみ修正しております。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

③ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④ 法人税等及び繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断において、経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況について大幅な変動がないため、前事業年度末に使用した業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。これにより、売上総利益、営業利益及び経常利益は、それぞれ2,873千円増加、税引前四半期純利益は8,973千円減少しております。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第 1 四半期会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,739,991	1,667,288
受取手形及び売掛金	2,696,145	2,783,182
商品	407,113	360,146
繰延税金資産	33,638	44,440
受託開発仕掛勘定	208,411	194,971
その他	81,342	74,412
貸倒引当金	△3,750	△3,850
流動資産合計	5,162,893	5,120,591
固定資産		
有形固定資産	109,935	114,610
無形固定資産	41,773	46,354
投資その他の資産		
投資有価証券	52,945	52,979
差入保証金	88,842	85,391
繰延税金資産	41,187	41,960
その他	8,108	8,010
投資その他の資産合計	191,083	188,341
固定資産合計	342,792	349,306
資産合計	5,505,685	5,469,897
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,965,332	2,886,839
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	99,274	126,609
未払法人税等	35,656	123,000
未払賞与	101,334	0
賞与引当金	23,247	79,122
売上値引引当金	46,530	0
仮受受託開発補助金勘定	218,502	218,502
その他	110,605	135,970
流動負債合計	3,700,482	3,670,042
固定負債		
長期借入金	13,913	26,044
退職給付引当金	55,723	52,787
役員退職慰労引当金	47,289	52,158
固定負債合計	116,925	130,989
負債合計	3,817,408	3,801,032

（単位：千円）

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,410	324,613
資本剰余金	295,703	294,908
利益剰余金	1,067,547	1,049,706
自己株式	△173	△173
株主資本合計	1,688,487	1,669,055
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△209	△189
評価・換算差額等合計	△209	△189
純資産合計	1,688,277	1,668,865
負債純資産合計	5,505,685	5,469,897

(2) 【四半期損益計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

売上高	2,999,676
売上原価	2,377,877
売上総利益	621,798
販売費及び一般管理費	540,575
営業利益	81,223
営業外収益	36,713
営業外費用	2,783
経常利益	115,153
特別利益	100
特別損失	11,846
税引前四半期純利益	103,406
法人税、住民税及び事業税	33,133
法人税等調整額	11,588
法人税等合計	44,722
四半期純利益	58,684

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	103,406
減価償却費	13,262
デリバティブ評価損益(△は益)	△31,783
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,874
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,935
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,868
売上値引引当金の増減額(△は減少)	46,530
受取利息及び受取配当金	△441
支払利息及び社債利息	874
株式交付費	1,909
為替差損益(△は益)	△2,303
売上債権の増減額(△は増加)	61,600
たな卸資産の増減額(△は増加)	△46,967
仕入債務の増減額(△は減少)	103,929
未払賞与の増減額(△は減少)	101,334
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,507
受託開発勘定の増減額	△13,439
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△16,628
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△6,529
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△27
小計	260,324
利息及び配当金の受取額	527
利息の支払額	△718
法人税等の支払額	△114,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,570
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,855
有形固定資産の売却による収入	1,470
差入保証金の差入による支出	△3,500
差入保証金の回収による収入	50
貸付金の回収による収入	8,100
その他	△90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,827
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△39,466
株式の発行による支出	△317
配当金の支払額	△33,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△73,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,702
現金及び現金同等物の期首残高	1,567,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,639,991

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前第1四半期に係る財務諸表等

（1）（要約）四半期損益計算書

（単位：千円）

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	2,769,302
II 売上原価	2,189,740
売上総利益	579,561
III 販売費及び一般管理費	496,302
営業利益	83,258
IV 営業外収益	13,400
V 営業外費用	18,933
経常利益	77,725
VI 特別利益	—
VII 特別損失	450
税引前四半期純利益	77,275
税金費用	32,912
四半期純利益	44,362

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前四半期純利益	77,275
2 減価償却費	13,026
3 デリバティブ評価損益(△は益)	△13,037
4 貸倒引当金の増減額(△は減少)	300
5 退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,398
6 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,318
7 賞与引当金の増減額(△は減少)	62,189
8 売上値引引当金の増減額(△は減少)	30,644
9 受取利息及び受取配当金	△239
10 支払利息及び社債利息	2,063
11 為替換算差損益(△は差益)	△1,174
12 固定資産除却損	450
13 新株交付費	9,189
14 株式公開費用	7,515
15 売上債権の増減額(△は増加)	△194,511
16 たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,907
17 仕入債務の増減額(△は減少)	81,678
18 受託開発勘定の増減額	△27,176
19 その他	△6,939
小計	34,063
20 利息及び配当金の受取額	239
21 利息の支払額	△2,173
22 法人税等の支払額	△89,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	△57,387
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△1,783
2 無形固定資産の取得による支出	△337
3 差入保証金の差入による支出	△2,542
4 その他	△103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,766

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の返済による支出	△126,000
2 長期借入金の返済による支出	△43,816
3 株式の発行による収入	391,532
4 株式公開に伴う支出	△7,515
5 配当金の支払額	△26,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	187,301
Ⅳ 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,174
Ⅴ 現金及び現金同等物の増加額	126,321
Ⅵ 現金及び現金同等物の期首残高	1,352,289
Ⅶ 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,478,610

6. その他の情報

(1) 生産実績

当社の事業は、商品の仕入販売であり、生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

(2) 仕入実績

(単位：千円、%)

事業区分	当四半期		前年同四半期		比較増減	
	(平成21年 3 月期第 1 四半期)		(平成20年 3 月期第 1 四半期)			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
不整脈事業	2, 211, 392	89. 8	1, 972, 534	89. 5	238, 858	12. 1
虚血事業	250, 227	10. 2	229, 871	10. 4	20, 356	8. 9
その他	2, 069	0. 1	2, 855	0. 1	△785	△27. 5
合計	2, 463, 690	100. 0	2, 205, 260	100. 0	258, 430	11. 7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社の事業形態は、原則として販売と仕入が同時に発生するため、記載を省略しました。

(4) 販売実績

(単位：千円、%)

事業区分	当四半期		前年同四半期		比較増減	
	(平成21年 3 月期第 1 四半期)		(平成20年 3 月期第 1 四半期)			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
不整脈事業	2, 583, 539	86. 1	2, 406, 176	86. 9	177, 363	7. 4
虚血事業	412, 893	13. 8	356, 394	12. 9	56, 499	15. 9
その他	3, 242	0. 1	6, 731	0. 2	△3, 488	△51. 8
合計	2, 999, 676	100. 0	2, 769, 302	100. 0	230, 373	8. 3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。